



さくらおか

【学校目標】
 徳・知・体のバランスのとれた
 質の高い桜っ子の育成
 【めざす子ども像】
 やさしい子・かしこい子・たくましい子

平成29年
 5月19日
 6号
 文責：校長

わくわくタイム「縦割り班で平和の折り鶴づくり」

5月17日(水)の朝の時間は「わくわくタイム」でした。わくわくタイムとは、1年生から6年生までの異学年で班を構成した縦割り班での活動をする時間です。縦割り班活動の考え方は、子ども達に社会性の基礎を育てていきたいとことです。社会性の基礎となるのは、「人と関わりたい」という気持ちです。この気持ちは、一人一人の子どもが、自分で関わった体験で学んでいきます。「周りの人と関わることは楽しい」等と感じることから「人との関わり」は始まります。しかし、そういった「人と関わりたい」という部分が、現在の子供達には育ちにくくなったといわれています。少子化によってきょうだい数や地域の子どもの数が減ってくる中で子ども達が「人と関わる」ことに自然に慣れ、「人と関わりたい」思いを自然に感じとっていく、そんな場も機会もどんどん少なくなってきています。社会性の基礎となるべきものが自然に身に付くことは本当に難しくなりました。学校は、同じ地区の異年齢の子ども達が集まってきます。この利点を生かして、異学年の交流による社会性を育てていきたいと思ひます。



桜岡小学校では、この異学年交流活動を計画的に一年間実施していきます。班の旗づくり、班のメンバー全員で遊ぶ、運動会の取り組み、長縄跳びなどの活動を通して、「人と関わる喜び」を子ども達に自ら獲得させていきたいと思ひています。

17日の活動は「平和の祈りを込めた折り鶴」づくりでした。6年生が、作る意味を説明し、折り紙に一人一人が平和の願いを記入してから折りました。学年に関係なく、折り方を知っている子どもは、知らない子どもに丁寧に教えていく姿が見られました。また、6年生は、電子黒板を使って折り方を説明したり、車座になって折り方を一緒にしたりする工夫をしながらの姿が見られました。

靴の整理 「凡事徹底」



左の2枚の写真を見てください。上が6年月組の登校後の靴箱、下が1年花組の下校後の靴箱です。整然と整理されて並んでいるのがわかります。桜岡小学校の自慢が、ここにもありました。



靴箱に靴を整理して入れるなんて、当たり前のことと考えられると思ひます。しかし、これが大きな集団になるとなかなかできません。一人一人の子どもが靴をきちんと入れるという意識を持ち行動に移さなければなりません。それができています。教室を離れた場所でも、どこかへ出かけたときにも、みんなが楽しく、嬉しくなるような行動ができる子どもを育てていきたいと思ひます。

団体生活では、生活がスムーズにいくことが求められます。履物を脱ぐ時は、ちょっと面倒かもしれないが、履く時を考えると前向きにいた方が効率的。トイレのスリッパは、次の人が履くことを考えたらやはり前向きにしているのいいと思ひます。トイレのスリッパもきちんと並んでいることが増えました。誰かが意識して並べてくれているかも知れないと思ひると、本当に素敵な子ども達だと思ひます。ご家庭でも「靴前え」励ましてください。

「お知らせ」 職員の交代について

5月12日に内野由美教諭が都合により退職されました。急な退職のため子ども達や保護者の皆様にもご迷惑おかけいたします。内野教諭に対しますこれまでのご支援ありがとうございました。

今週より、代替職員として「館林智美」が勤務しています。これから、あおば学級をはじめ5年生や6年生の指導や支援をしていきます。緊張の中にもやる気一杯の姿で勤務しています。よろしくお願ひします。